

令和3年7月7日

福島大学附属特別支援学校サマーフェスティバル 父親部企画「サガキケイタ氏とのコラボによるビッグアート制作」

福島大学附属特別支援学校では、昨年度はコロナ禍によって開催できなかったサマーフェスティバルを、今年度は感染症防止の対策を十分に取った上での開催を計画しています。その感染症拡大防止の一環として、小・中・高の3学部ある本校でできる企画として、各学部並びに父親部で制作した絵画の部分を持ち寄って、サマーフェスティバル当日に展示することを計画しています。

原画は、現在国際的なアートシーンで活躍している、本学大学院修了生のサガキケイタ氏に制作していただきました（詳細は別添資料にて掲載しています）。

今回の企画は本校の児童生徒保護者が本物のアートに触れる貴重な機会であると同時に、アートによる地域教育の活性化につながるものと考えています。

日程：令和3年7月25日（日）展示発表は9：00～13：30

9：00～小学部、10：30～中学部、12：00～高等部

場所：福島大学附属特別支援学校（福島県福島市八木田字並柳71）

制作作品：

福島中央テレビの「アートエールプロジェクト」に参加した際のサガキ版赤富士とは、元となる古典版画作品「凱風快晴」と出典は同様ですが、本校サマーフェスティバル用にサガキ版赤富士別バージョンとしてオリジナルを制作していただきました。



「全体と部分の関係性」、「視点の変化による価値の転換」、「対立概念の共存」の3つのコンセプトを軸に作品を制作。誰もが一度は目にしたことがある有名な古典絵画などのイメージを、製図ペンを用いておびただしい数のキャラクターを描き込むことによって再構築しています。

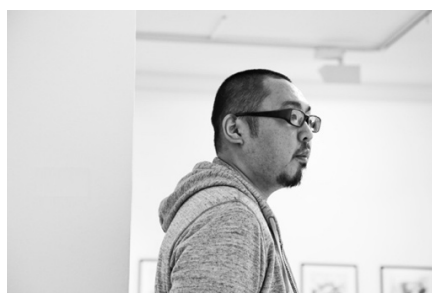
（お問い合わせ先）

福島大学特別支援学校 校長 新井浩

電話：024-548-5212

メール：arai@educ.fukushima-u.ac.jp

サガキケイタ氏



1. 略歴

1984 年 石川県生まれ

2008 年 福島大学大学院教育学研究科修了

福島大学、同大学院で美術教育を専攻。

大学修了後は東京で7年間、高校の美術教師を勤めながらアーティスト活動を行う。

2015年に教員を退職、それ以降は専業作家として国内外問わずギャラリーでの展示や、アートフェアへの参加を中心に活動している。

これまでの作品や活動については以下 URL にてご確認いただけます。

サガキケイタオフィシャルウェブサイト <https://sagakikeita.com>

2. 企画に参加しようとした動機、思い

今回の企画のお話をいただき、まず単純に楽しそうだなと感じました。

また、自身も中学生の時の文化祭や、美術教員の時の文化祭や発表会などで生徒と一緒にビッグアートを作っていたので、懐かしさもあり、ぜひお引き受けしたいと思いました。部分を集めて一枚の絵を作っていくビッグアートの制作方法は、私の作品の制作スタイルと通底していると感じています。自身の絵が、入れ子構造のようにビッグアートという体系に組み込まれることで、どのような化学反応が起こるのか楽しみです。

3. 作品の制作意図

この作品は、葛飾北斎の「富嶽三十六景 凱風快晴」(通称赤富士)のイメージを、福島県各地の民芸品や名産、名所、名物などをモチーフにして作った46のキャラクターを集積させ「福島四十六景」としてリプロダクションしています。

離れた所から見ると赤富士ですが、近づいて見てみると沢山のキャラクターを発見することが出来ます。視点を変えることで、今まで見えていたものから、新しいイメージが見えてくる驚きと楽しさを感じてくれたらと思って制作しました。